

報道関係者各位

2023年8月21日

川崎重工業株式会社

東京貿易ホールディングス株式会社

## 液化水素サプライチェーンの商用化実証に向けた ローディングアーム共同設計について

川崎重工業株式会社(代表取締役社長執行役員:橋本康彦、以下「川崎重工」)、東京貿易ホールディングス株式会社(東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 27F、代表取締役社長 坪内秀介)のグループ会社である TB グローバルテクノロジーズ株式会社(東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 28F、代表取締役社長 Laurent Poidevin)は、「液化水素サプライチェーンの商用化実証※1」において実装する液化水素用大型ローディングアーム(以下 LA)の設計業務を 2023 年8月より共同で実施することを合意しました。

液化水素海上輸送において、液化水素用 LA は液化水素を陸側から船側へ積荷、運搬された液化水素を船側から陸側へ揚荷を行う際に必要で、液化水素サプライチェーンには欠かすことのできない設備です。

これまで両社は、2014 年より始まった内閣府 SIP 事業(戦略的イノベーション創造プログラム)において、口径6B 液化水素用鋼管型 LA の開発※2 を共同にて行い、2023 年 2 月末には神戸水素基地(Hy touch 神戸/HySTRA)において初荷役に成功、鋼管型 LA の液化水素荷役において世界初の荷役実証実績を成し遂げました。※3

また NEDO 事業「水素社会構築技術開発事業/大規模水素エネルギー利用技術開発※4」では、液化水素用大型ローディングアームの要素技術開発に共同にて行って参りました。

カーボンニュートラル実現に向けて商用規模での国際的な液化水素サプライチェーンの構築に貢献するため、両社は、液化水素用大型ローディングアームの製品化に取り組んで参ります。



神戸水素基地(Hy touch 神戸/HySTRA)において、世界で初めての荷役実証に成功した荷役設備

※1 液化水素サプライチェーンの商用化実証

事業期間:2021年度~2030年度(予定)

事業概要:<https://green-innovation.nedo.go.jp/project/hydrogen-supply-chain/>

※2 液化水素用鋼管型 LA の開発(口径:6B)

<https://www.tbgtech.co.jp/wp-content/uploads/2021/03/developedLH2LA.pdf>

※3 鋼管型 LA 液化水素荷役 世界初荷役実証成功

東京貿易ホールディングス 2023年4月28日ニュースリリース

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/8f5dba7c8e6f718b9d7ca8655c549ebe.pdf>

※4 水素社会構築技術開発事業/大規模水素エネルギー利用技術開発

事業期間:2019年度~2022年度 事業概要:

[https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP\\_100096.html](https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100096.html)

お問い合わせ先

東京貿易ホールディングス株式会社 広報室 隅田まゆみ  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン 27階  
TEL:03-6841-8334 FAX:03-6841-8388 Mail:Sumita.Mayumi@tokyo-boeki.co.jp

## 東京貿易グループとは



持ち株会社である東京貿易ホールディングス株式会社（東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 27F、代表取締役社長 坪内秀介）と個性豊かな国内外の 15 事業会社、合計 16 会社で構成する独立系の企業グループであり、1947 年の創業から 75 周年を迎えました。

グループ共通のスピリッツである「全員経営の精神」を核的価値観(コアバリュー)として掲げ、グループ各社が自立した企業活動を行いながら、グループ全体の存在感と競争力を相乗的に高めることにより、新しい価値を世の中に提供し続けるグループを目指しています。

東京貿易グループは今後も変革を恐れず、自由闊達な文化の下、イノベーションを起こし、ステークホルダーの皆様が安全・安心な生活、経済、社会活動をおくることができる、より良い社会の実現と持続に貢献します。

<https://www.tokyo-boeki.co.jp/>